



CONTENTS

- P1 入学式
 P2 陶山哲夫学長がベネッセ「Between」で
 紹介されました
 P2 学生相談室がオープンしました
 P2 本学副学長の草野修輔教授が読売新聞の
 取材を受けました
 P3 皮膚表皮細胞の細胞死過程を解明
 ー細胞内の酸性化が正常な角層形成に重要ー

- P3 「認知症サポーター養成講座」を開講
 P4 東京保健医療専門職大学紀要
 第1巻 第1号(2021)発行
 P4 「東京2020パラリンピック」日本選手団帯同
 トレーナー 鳥居昭久先生の激励会を開催

発行 東京保健医療専門職大学
 教育後援会

〒135-0043
 東京都江東区塩浜 2-22-10
 電話番号：03-6272-5671
 FAX 番号：03-6272-5672
 電子メール：gakusei@tpu.ac.jp

入学式

2021年4月2日（金）、本学の第2期生となる2021年度入学式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染予防のため、大講堂で密を避けて行いました。

陶山哲夫学長の式辞に続き、学校法人敬心学園の小林光俊理事長が祝辞を述べました。

その後、各クラスの担任教員による新入生紹介のあと、新入生代表による「宣誓」を行いました。

代表を務めたのは、理学療法学科に入学した有竹創さん（横須賀学院高等学校卒業）と、作業療法学科に入学した片瀬遥さん（幕張総合高等学校卒業）のお二人です。

有竹さんは「患者様とのコミュニケーションを大切に、ひとり一人に寄り添える理学療法士になりたい」と決意を表明しました。

片瀬さんは「笑顔を忘れず、仲間とともに励まし合いながら、全力で努力することを誓います」と宣誓しました。

午後のオリエンテーションでは、サークル紹介も行われ、各サークルの代表から、活動内容の紹介がありました。これから4年間、大変な勉強が続きますが、クラスメイトと励まし合いながら充実した大学生活を過ごしていただければと思います。



入学式会場入口



入学式の様子



学長祝辞



有竹創さん（理学療法学科）



サークル紹介の様子



片瀬遥さん（作業療法学科）

陶山哲夫学長がベネッセ「Between」で紹介されました

本学学長の陶山哲夫教授が、株式会社ベネッセコーポレーションが発刊する『Between』2021年3-4月号(No.296)にて紹介されました。

“荒波に挑むトップ～私の改革論～”というコーナーで紹介された陶山学長。「共生社会の実現と発展を地域でけん引する大学へ」をテーマにインタビュー記事が掲載されています。

インタビュー記事は以下の4つの項目で構成されています。

- ・ 少子高齢社会では共生が地域活性化の鍵
- ・ 地域と関わる力を展開科目等で育成
- ・ 教員の地域参加を積極的に後押し
- ・ 寄り添う心を大切に大学づくりに取り組む



学生相談室がオープンしました

新年度を迎えた4月6日、東京保健医療専門職大学の「学生相談室」がオープンしました。

学生相談室では、学生の皆さんの学生生活の充実やより良い心身の状態に向けてサポートしていきます。

たとえば大学生活のこと、心理や未来のこと、人間関係のことなど、学生さんひとり一人じっくり時間をかけてお話を聴き、いっしょに解決法を見出せるようサポートします。

また、学生の皆さんが普段から休憩やミニイベントなどに相談室を利用することもできます。



室内の様子



書籍スペース



相談イメージ

草野修輔副学長が読売新聞の取材を受けました

東京パラリンピック大会開催中の2021年8月31日、本学副学長で、日本障がい者スポーツ協会医学委員会の副委員長も務める草野修輔教授が、読売新聞の取材を受けました。

記事では、パラリンピックのドーピング対策として、約20年にわたって国内の障がい者アスリートの服用薬の調査および助言を一手に担ってきた経験を踏まえ、草野教授のアンチ・ドーピングの取組や、パラアスリートに向けた想いが紹介されました。



皮膚表皮細胞の細胞死過程を解明 —細胞内の酸性化が正常な角層形成に重要—

本学作業療法学科教員の佐々木博之教授が参画する理化学研究所、慶應義塾大学らの共同研究グループは、皮膚表皮細胞の細胞死の過程を明らかにし、新しい細胞死「Corneoptosis（コルネオトーシス）」を提唱しました。

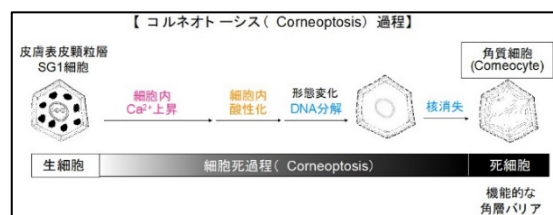
本研究の成果は、皮膚の表面にある角層のバリア障害が知られているアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患の発症機序解明に役立つと期待できます。

本研究は、米国アカデミー発行の機関誌『Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America (PNAS)』オンライン版に掲載されました。

(PNAS April 27, 2021 118 (17) e2020722118;
<https://doi.org/10.1073/pnas.2020722118>)



佐々木博之教授



「認知症サポーター養成講座」を開講

2021年5月11日(火)から19日(水)にかけて、本学学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開講しました。

認知症サポーターは、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする役割を果たします。

講座を担当いただいたのは、本学キャンパスが位置する江東区塩浜地区において、地域包括支援セン

ターとして高齢者やそのご家族へのサポート活動をされている「塩浜長寿サポートセンター」の小宮圭貴先生です。

本学の学生は学科や学年を問わず全員が受講し、修了の証として「オレンジリング」が手渡されました。

今後も塩浜長寿サポートセンター様と連携して、塩浜地区の高齢者を支えて参ります。



認知症サポーター講座の様子



小宮圭貴 先生(地域包括支援センター)



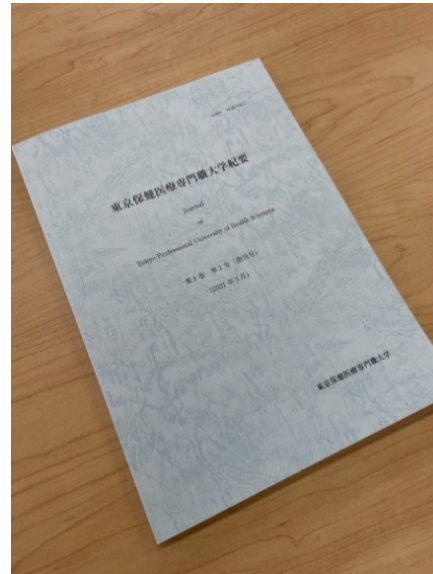
教材とオレンジリング

東京保健医療専門職大学紀要 第1巻 第1号(2021)発行

本学は2019年11月、文部科学省から大学設置を認可され、2020年4月に開学いたしました。翌年の2021年2月に第1回学術大会を開催し、2021年3月に「第1巻紀要」（創刊号）を発行いたしました。

「第1巻紀要」は以下の9つの項目で構成されています。

- ・ 巻頭言
- ・ 特別寄稿
- ・ 学術大会・学術講演報告
- ・ 総説
- ・ 短報
- ・ 教育講座
- ・ 研究・教育・社会活動の報告
- ・ 事業報告
- ・ 編集後記



東京保健医療専門職大学紀要 第1巻 第1号

「東京2020パラリンピック」日本選手団帯同トレーナー 鳥居昭久先生の激励会を開催

鳥居昭久先生（副学部長兼教務部長）がトレーナーとして日本選手団に帯同するにあたり、その激励会が、8月16日（月）に開催されました。

激励会では、日本障がい者スポーツ協会で医学委員長を務める陶山哲夫学長からの「激励のことば」に続き、職員からは激励の花束が贈呈され、理学療法学科の教員からは出発に向けたエールが送られました。

激励会の最後に鳥居先生から、「オリンピック・パラリンピックともに、現場レベルでは多くの理学療法士、作業療法士が関連活動を行っています。その点で、学生たちが将来このような舞台での活動を目指してくれることに繋がればと思っています。日本選手が輝けるようトレーナーとしてしっかりサポートして参ります」とメッセージがありました。



学長から激励の言葉



集合写真撮影の様子



花束贈呈